

### 早生品種クリ「丹沢」は高温少雨の気象条件下で健全果率が低下する

2024年夏季の気象は、平年に比べ気温が高く無降雨日が多く、猛暑日(最高気温35℃以上)が過去最多であった。高温少雨下において、クリ「丹沢」は未熟果(シワ果)が多発し、健全果率が低くなる。

農業研究センター球磨農業研究所(担当者:鶴岡奈緒)  
農業研究センター果樹研究所落葉果樹研究室(担当者:古田和秀)

#### 研究のねらい

2024年産「丹沢」では、毬の日焼けや毬が裂開せずに落ち未熟果(シワ果)となる果実が多発した(図3、4)。その要因を解明し、今後の生産対策の基礎資料とする。

#### 研究の成果

- 2024年夏季の気象は、平年に比べ気温が高く無降雨日が多い(図1)。特に、最高気温が35℃を超える猛暑日がこれまでで最も多く、球磨農業研究所(アメダス熊本県上)で41日、果樹研究所(アメダス熊本県甲佐)で53日である(図2)。
- 2024年産「丹沢」の健全果率は、球磨農業研究所で36%、果樹研究所で17%と過去に前例がないほど非常に低く、不良果に占める未熟果(シワ果)の割合が高い(図5)。
- 2024年産「筑波」の健全化率は、球磨農業研究所で56%、果樹研究所で63%、「美玖里」の健全化率は球磨農業研究所で49%、果樹研究所で73%であった(データ略)。

#### 成果の活用面・留意点

- 本試験は、球磨農業研究所及び果樹研究所内の作況樹を調査した結果である。
- 球磨農業研究所の収穫期間は「丹沢」8/14~8/30「筑波」9/9~10/11「美玖里」9/25~10/23、果樹研究所の収穫期間は「丹沢」8/13~9/4「筑波」9/4~10/11「美玖里」10/2~10/25であった。

【具体的データ】 No. 1127 (令和7年(2025年)6月) 分類コード 02-10 熊本県農林水産部

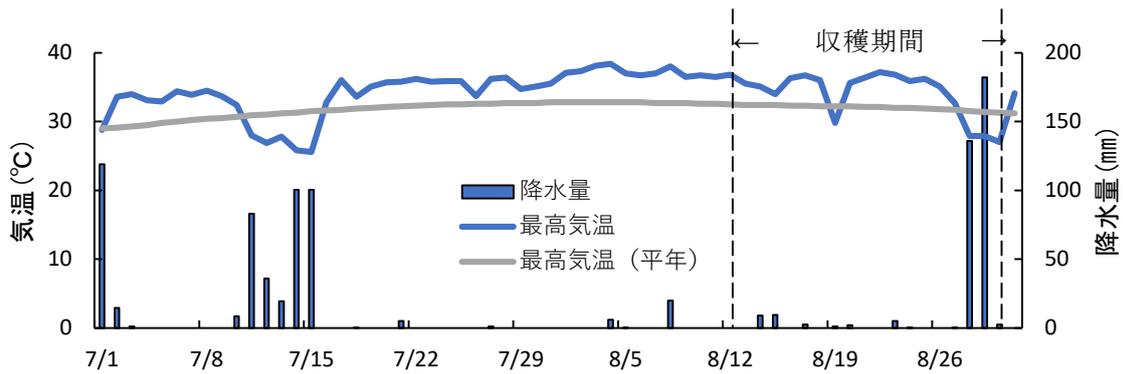


図1 2024年夏季の降水量、最高気温と「丹沢」の収穫期間(球磨農業研究所:上)

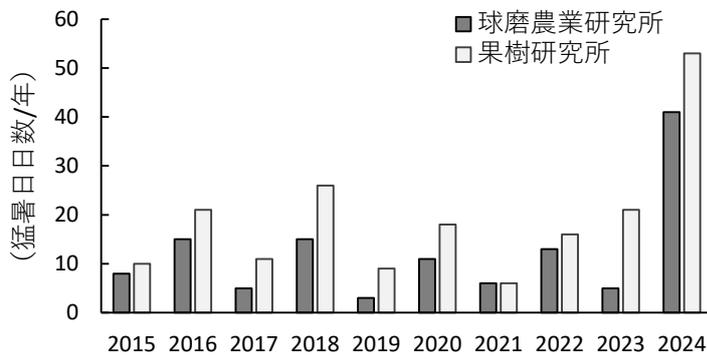


図2 猛暑日の推移(球磨農業研究所:上、果樹研究所:甲佐)



図3 「丹沢」の日焼けした毬



図4 「丹沢」の裂開せず落下した毬(左)を割った様子(中)と果実(未熟果(シワ果))(右)

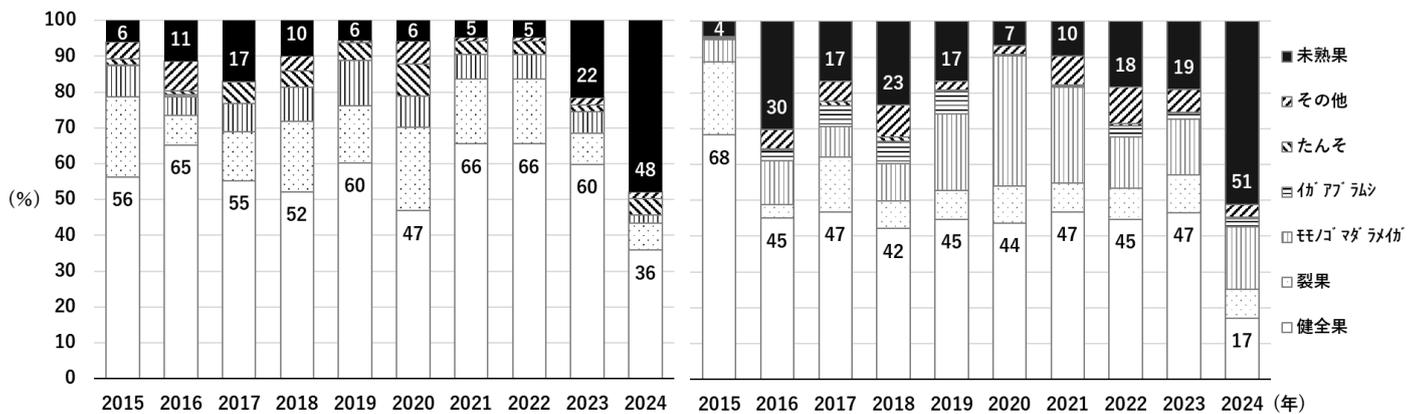


図5 「丹沢」の健全果と不良果の内訳の推移(左:球磨農業研究所、右:果樹研究所)